

# 皆野町橋梁長寿命化修繕計画

(個別施設計画)

令和 5 年 3 月  
(令和 7 年 4 月一部変更)





## 目 次

1.	はじめに .....	1
2.	対象施設 .....	3
3.	計画期間 .....	3
4.	老朽化対策における基本方針 .....	4
5.	個別施設の状態等 .....	5
6.	対策内容と実施時期 .....	6
7.	新技術等の活用方針 .....	8
8.	集約化・統廃合等の検討 .....	9
9.	費用の縮減に関する具体的な方針 .....	9

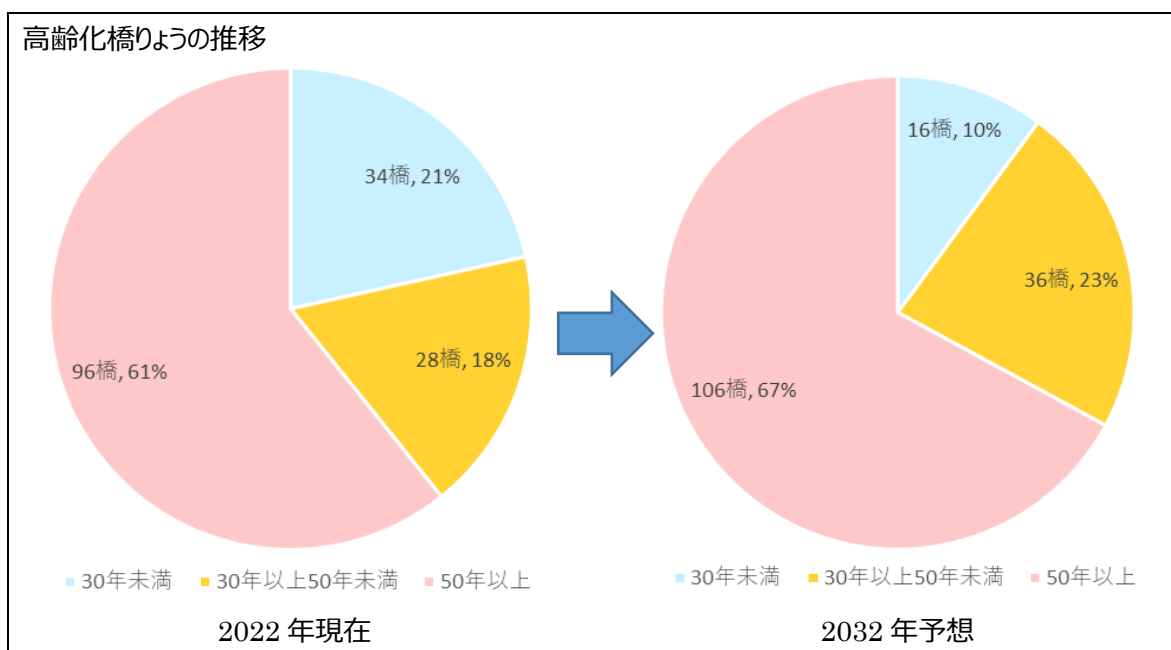


## 1. はじめに

皆野町では、平成 24 年 12 月に皆野町橋りょう長寿命化修繕計画（橋長 15m 以上 10 橋）を策定し、計画に基づき修繕工事を順次実施している状況です。平成 26 年 7 月から法定点検が施行され、1 巡目の定期点検が完了したことにより、残りの 147 橋を含めて対象橋梁の健全性に関する基礎データの収集・把握が可能となったため、管理橋梁全体の 157 橋について、今後実施すべき予防的修繕や架け替えのための更なる効率的・効果的な「橋梁長寿命化修繕計画」を策定しました。

下田野橋は、車道部分と歩道部分が別々の橋梁形式となり、作られた年代も異なることから、便宜上 2 橋に分けて計画を行いました。以後橋梁の合計値が 158 橋となる場合があります。

町が管理する橋梁は令和 4 年度（2022 年度）末現在 157 橋です。このうち建設後 50 年以上の橋梁は約 61%（96 橋）ですが、10 年後には約 68%（106 橋）と高齢化が進みます。従来の『傷んでから直す管理』を継続した場合、維持管理コストが膨大となり、道路利用者へ安全・安心なサービスを提供することが徐々に難しくなります。



橋梁長寿命化修繕計画は、橋梁点検を実施して損傷が軽微な段階から対策を実施し、維持管理に対する費用の縮減や平準化を図り、健全性を保持することが目的です。橋梁点検及び現状分析の結果を踏まえて、維持管理における基本方針や修繕等に掛かる概算費用を整理し、適正な維持管理に努めます。

---

## 長寿命化修繕計画策定の背景

---

老朽化対策に関する政府全体の取組として、平成 25 年 6 月に閣議決定した「日本再興戦略」に基づき、インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議において、平成 25 年 11 月に「インフラ長寿命化基本計画」がとりまとめられました。

今後、基本計画に基づき、国、自治体レベルで行動計画の策定を進めることで、全国のあらゆるインフラの安全性の向上と効率的な維持管理を実現することとされています。

皆野町では、平成 29 年 3 月に「皆野町公共施設等総合管理計画」を策定しました。（令和 4 年 3 月改訂）これが、「行動計画」として位置づけられています。今回「個別施設計画」に該当する「橋梁長寿命化修繕計画」を改訂します。

---

## 長寿命化修繕計画策定の目的

---

長寿命化修繕計画は、今後老朽化する橋梁の増大に対応するため、地方公共団体自ら計画策定することにより、従来の事後的な修繕及び架け替えから予防的な修繕及び計画的な架け替えへの転換を図るとともに、維持管理を計画的に実施し、長期的視野に基づき橋梁の健全性を保持することが目的である。

---

## 対象および計画期間

---

長寿命化修繕計画の対象となる橋梁は、皆野町が管理する橋長 2 m 以上の町道橋すべてとし、今後 50 年間の対策費用のシミュレーションを行い、10 年間の中長期修繕計画を作成しました。

---

## 点検およびパトロール

---

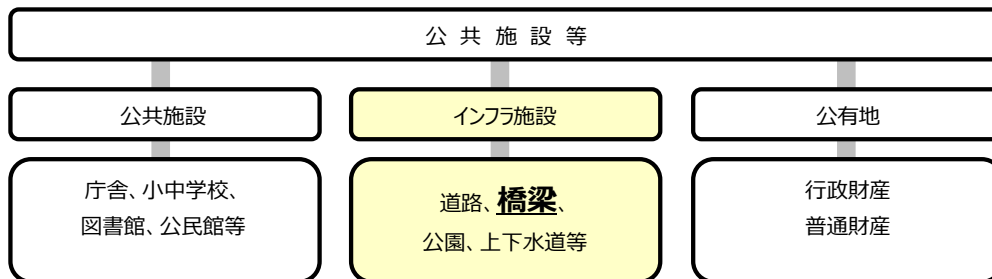
橋梁については、住民生活に直結する重要なインフラであることから、その状態を健全に保つため、5 年に 1 回の頻度で予防保全型の点検・診断等を行います。

加えて、日々の管理については、定期的なパトロールを実施し、安全確保に努めていきます。

---

## 2. 対象施設

皆野町が管理する橋梁は、道路法で規定された157橋となります。



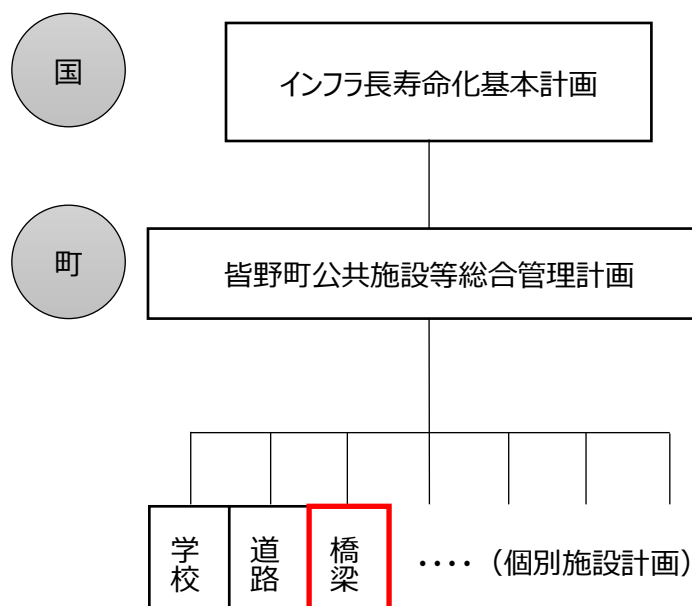
対象橋梁の一覧を巻末に示します。

## 3. 計画期間

インフラの状態は、経年劣化や疲労等によって時々刻々と変化することから、定期点検サイクル等を考慮のうえ計画期間を設定し点検結果等を踏まえ、適宜計画を更新するものとします。

皆野町では、今後10年間を中長期修繕計画と位置づけ、橋梁点検や補修計画を立案しました。将来の事業費の推移を示すために長期計画として50年間のシミュレーションを行いました。

### 計画の位置づけ



本計画は、平成25年11月29日にインフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議で決定された「インフラ長寿命化基本計画」において策定を期待されている「インフラ長寿命化計画（行動計画）」に該当するもので、「皆野町公共施設等総合管理計画（行動計画）」の個別施設計画として位置付けることとします。

## 4. 老朽化対策における基本方針

皆野町では健全性の評価が悪い橋梁について優先的に機能保全を行います。このうち緊急時にネットワークとして町の機能を確保する路線（重要物流道路・優先除雪道路）や2次災害の被害が大きいと予想される橋梁を優先します。

橋梁の重要度については、橋梁が果たす役割に評価点を設けその組み合わせにより点数化しました。

項目	係数
橋長	0.20
幅員	0.20
迂回路	0.20
交差条件	0.00
ライフライン	0.20
地域重要度	0.20
合計	1.00

内容	評定点	係数乗算後
5m未満	0	0
5m以上10m未満	35	7
10m以上15m未満	70	14
15m以上	100	20

内容	評定点	係数乗算後
4m未満	0	0
4m以上8m未満	35	7
8m以上12m未満	70	14
12m以上	100	20

内容	評定点	係数乗算後
なし	100	20
あり	0	0

内容	評定点	係数乗算後
道路以外	0	0
道路	100	0

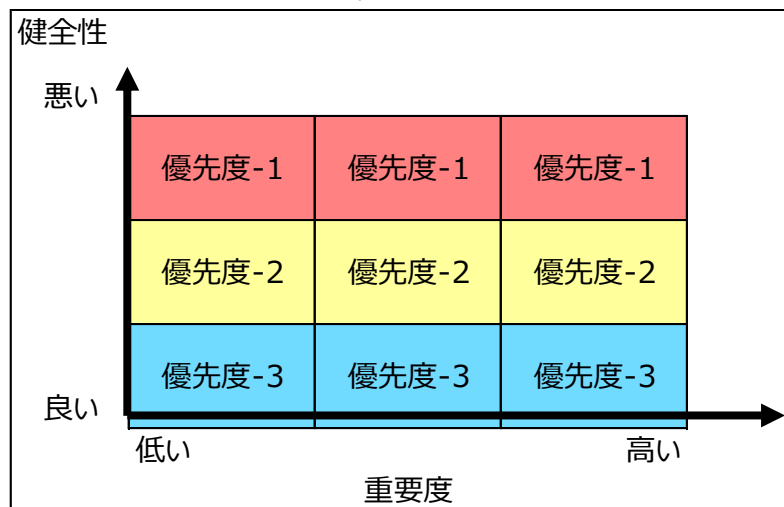
  

内容	評定点	係数乗算後
ガス	100	20
上水道	100	20
電力	90	18
電話	80	16
下水道	80	16

内容	評定点	係数乗算後
重要物流道路	100	20
優先除雪道路	80	16
その他	0	0

また、優先順位の考え方については、「事故や不具合が発生した場合の被害の大きさ（重要度）」と「維持管理を怠ったときに事故や不具合が発生する確率（健全性）」の2つで対策の優先順位を評価し、両者の評価項目を組み合わせることで3段階の区分で対策の優先順位を決定しました。



健全性の評価につきましては、5年に1度の頻度で実施している橋梁点検の結果を用いています。  
橋梁点検の結果は、4段階評価となっており、この評価基準は国が定めたもので、日本全国共通の評価基準となります。

判定区分の表

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

※出典：道路橋定期点検要領（平成31年2月 国土交通省道路局）

将来的な利用形態や重要度、ライフサイクルコストの検討、ほかの事業との関係性など様々な条件を検討するため、実施までに期間を要する場合があります。

## 5. 個別施設の状態等

皆野町では、道路橋定期点検要領による橋梁点検を対象橋梁すべてに対して実施しました。健全性の判定は、以下のようになりました。

判定区分	部材単位の健全性						道路橋ごとの健全性
	（上主桁） 部構造	（上横桁） 部構造	（上床版） 部構造	下部構造	支承部	その他	
I	113	33	36	144	72	90	97
II	17	1	7	13	5	64	55
III	1	0	1	1	0	4	6
IV	0	0	0	0	0	0	0
合計	131	34	44	158	77	158	158

※下田野橋を2橋に分割したため合計が158橋となっています。

橋梁単位で早期補修が必要なⅢ判定の橋梁は6橋ありますが、点検の結果Ⅲ判定となった橋梁は順次補修対策を実施しているため、皆野町では令和4年度現在、Ⅲ判定以上の橋梁はありません。

今後の橋梁点検の結果、早期措置が必要な橋梁が発見された場合は、補修を実施していく予定です。その他、将来の劣化予測や長寿命化修繕計画に従い、引き続き機能保全を実施していきます。

## 6. 対策内容と実施時期

「4.老朽化対策における基本方針」及び「5.個別施設の状況等」を踏まえ、次回の点検・診断や修繕・更新等の必要な対策について、講じる措置の内容や実施時期を以下の条件により施設ごとに整理しました。

なお、この計画は今後の定期点検結果に基づき、随時見直すこととし、更新の機会を捉えた機能転換・用途変更、複合化・集約化、廃止・撤去等についても整理を進めます。

対策内容・対策時期に関しては、以下の条件を活用しました。

### 6-1 対策工法

採用する対策工法は、次の結果を適用しました。

部材	材料	対策工法	部材	材料	対策工法
主桁	鋼	塗装塗替え	床板	RC	床板防水
		当て板補強			表面含侵
	RC・PC	表面含侵			ひびわれ注入
		ひびわれ注入			断面修復
		断面修復			炭素繊維接着
		炭素繊維接着			
橋台 橋脚	コンクリート	ひびわれ注入	支承	支承	支承再塗装
		断面修復	伸縮装置	伸縮装置	伸縮装置取替工
		Co 巻き立て			

### 6-2 対策工法の選定

適用する対策工法および対策範囲に関しては、橋梁ごとに損傷種類や発生箇所が様々であるため、点検調書より諸元情報・損傷図・損傷写真を確認し、個別に設定しました。

部材		対策設定内容の基本的な考え方
主構造	鋼	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的に全面的塗装塗替えを想定する。</li> <li>母材の腐食（減厚・孔食）が想定される場合は、当て板補強を計上する。</li> <li>なお、支承の塗り替えも同時に行うことを想定している。</li> </ul>
	コンクリート	<ul style="list-style-type: none"> <li>表面含侵を行うことを基本とする。</li> <li>ひび割れ注入および断面修復を想定する。</li> <li>なお、著しい損傷の場合は、炭素繊維接着を計上する。</li> </ul>
支承		<ul style="list-style-type: none"> <li>桁塗装を実施する際、支承に腐食が発生している場合は、併せて支承塗替えを計上する。</li> <li>支承の交換が必要な損傷が発生しているものは、支承交換を計上する。</li> </ul>
伸縮装置		<ul style="list-style-type: none"> <li>鋼製の伸縮装置など、交換が必要な損傷が発生している場合は、伸縮装置取替を計上する。</li> </ul>

### 6-3 対策実施時期について

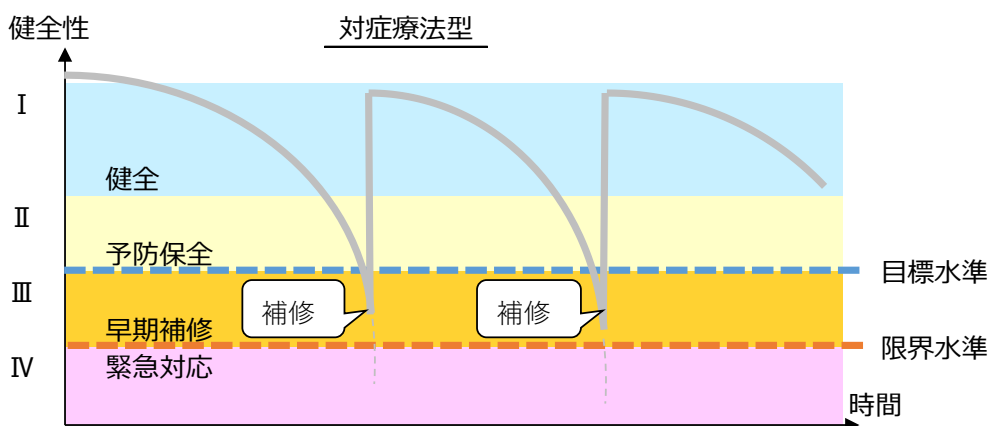
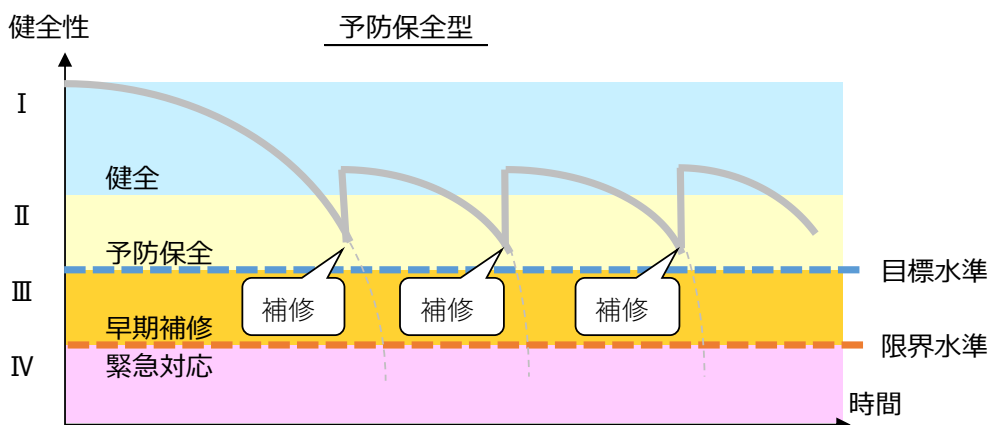
対策実施時期は、上記の考えで計上した対策工法に対して、投資可能額がどの程度かによって影響を受けます。よって、対策費用、投資可能な予算の整理結果を踏まえ、決定することとなります。

一方で、対策要否を決定する必要があり、そのためには管理水準の設定が必要となります。こちらも、将来推計より設定した下表の結果を適用することとしました。

管理区分	管理水準	目標とする寿命	対象橋梁数
予防保全型	健全性Ⅱ末期で対策を計画	100年以上	158橋
対症療法型	健全性Ⅲ末期で対策を計画	60年以上	対象なし
観察保全型	使用限界に達した時点で架替え又は補修を計画	—	対象なし

※各項目は長寿命化修繕計画における修繕（補修・補強・更新）時期および内容をシミュレートするために設定するものであり、実際の修繕内容とは異なります。

修繕内容については専門家による詳細設計や地域実情、道路管理者等による将来計画等を総合的に判断し実施されるべきであり、本計画において更新となる橋梁が当該年次に架け替えを行うことを決定するものではありません。



## 7. 新技術等の活用方針

### 7-1 橋梁点検における新技術等の活用

橋梁点検の効率化などを図るために、「点検支援技術性能カタログ（橋梁・トンネル）令和4年9月」（以下「性能カタログ」）に掲載されている技術や、その他近接目視を充実・補完・代替する技術などの活用を検討しました。

長寿命化修繕計画では、利用可能と思われる新技術の検討を行い道路管理者である監督職員と協議を行い選定したものであるため、実際の橋梁点検では違った新技術が採用される場合があります。

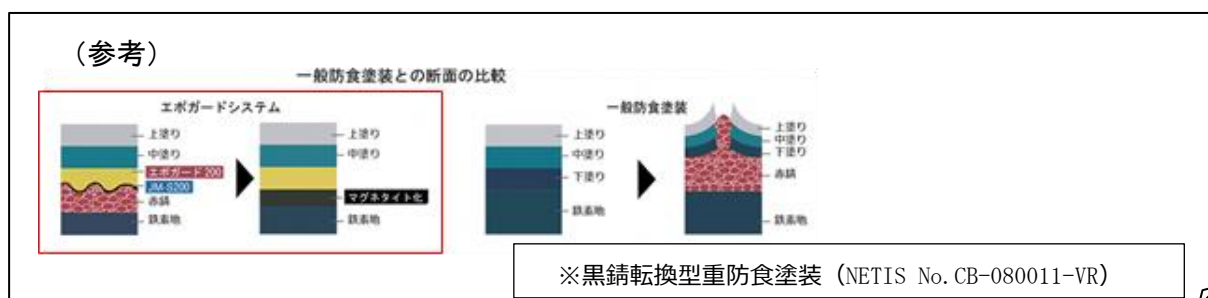
**令和5年度以降5年間の橋梁定期点検で、20橋程度の橋梁で新技術の活用を目指します。  
また、事業費削減目標を200万円程度とします。**

### 7-2 補修工事における新技術等の活用

今後実施する橋梁補修工事において、新技術の導入により、事業費削減を目指すこととしました。

補修工事は、橋梁の損傷状況や環境により適用条件が異なるため、実績の多い錆転換型の塗装塗り替え工事を活用することとしました。

皆野町では、NETIS<sup>※</sup>などを参考に、個別橋梁の対策事業の際に、新技術の活用検討を行い、事業費削減を行っていきます。



黒錆転換型重防食塗装の事業費削減額は25%以上（NETIS）となります。現場条件や塗装仕様など橋梁の架設条件により新技術が適用できない場合もあります。

**皆野町では、今後10年間に補修が必要となる橋梁がほとんどないことから、目標額として計上することは致しません。今後の見直し等により積極的に採用していきます。**

※NETIS（新技術情報提供システム）とは、民間企業等により開発された新技術に係る情報を共有及び提供するためのデータベースで、国土交通省によって運営され NewTechnologyInformationSystem の頭文字をとり、ネティスと呼ばれています。

## 8. 集約化・統廃合等の検討

皆野町では、今後増大すると予想される橋梁の維持管理費用に対し、地域住民への安全・安心の提供ならびに地域住民サービス提供の水準維持を基本に管理する橋梁の集約化・統廃合計画を策定します。

- ライフサイクルコストの観点から維持補修を行うよりも集約化・統廃合等が有効となる橋梁
- 幅員が狭く利用実績がない（または、極端に少ない）橋梁
- 迂回道路が整備されており、利用者への負担が少ない橋梁
- これらの橋梁について集約化・統廃合等を検討し、集約化・統廃合による地域住民へのサービス提供の低下を最小限に抑える

以上を皆野町における橋梁集約化等の基本方針とします。

**今までの長寿命化修繕計画の取り組みにより、皆野町では、全管理橋梁を適切に管理できています。今後、さらに老朽化が進んだ場合や、社会情勢等により見直しが必要となる時期があるかもしれませんが、今回の改訂では、全ての橋梁を予防保全的に維持管理を行う計画とするため、集約化や統廃合を計画する橋梁はありません。**

## 9. 費用の縮減に関する具体的な方針

### 9-1 費用の縮減に関する方針

今後、長寿命化修繕計画の策定において、予防保全型の維持管理による事業費削減のほか、全体的なインフラ施設の削減も必要となってきています。皆野町では、今後の橋梁維持管理費の削減のため、新技術の活用を検討し、積極的に新技術を採用していくとともに、撤去・集約化を検討し、撤去・集約化による地域住民へのサービス提供の低下を最小限に抑えつつ、対象となる橋梁を選定します。

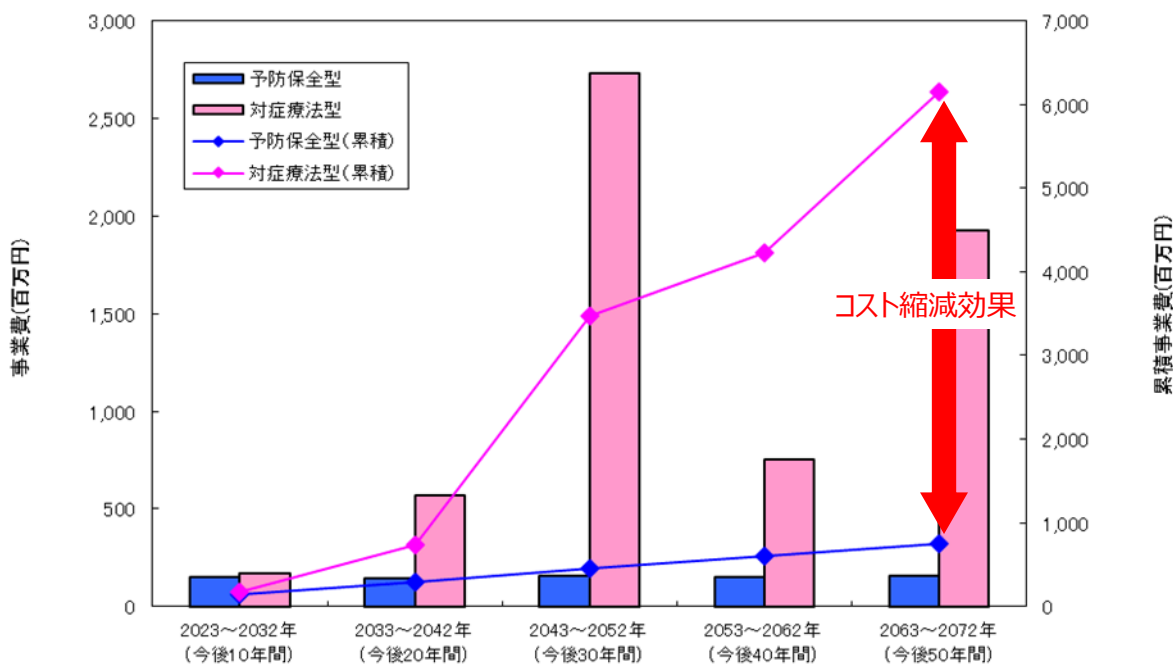
## 9-2 長寿命化修繕計画によるコスト縮減効果

皆野町の予算（2千万円/年）で平準化を行った計画に対し中長期事業計画を策定する橋梁について、今後50年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型62億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による計画管理型が8億円となり、コスト縮減効果は54億円となりました。

維持管理方法	50年間に 必要な事業費	年間当たり
①計画管理型	8億円	約1.5千万円
②対症療法型	62億円	約1.23億円
コスト差①-② (縮減効果)	-54億円	-1.08億円

※維持管理方法について

- ①計画管理型とは、予防保全・早期対策・観察保全を組み合わせた管理方法です。
- ②対症療法型とは、損傷が確認されてから対策を行う従来までの事後保全的な管理方法です。



## 9-3 費用削減効果と目標

皆野町における費用削減効果と目標を以下のように設定しました。

- (1) 撤去・集約化による費用縮減効果と目標  
なし
- (2) 新技術活用による費用縮減効果と目標（橋梁点検）  
200万円 20橋程度
- (3) 新技術活用による費用縮減効果と目標（補修工事）  
なし（補修工事が必要となった場合は、NETIS工法等の積極採用を実施）

皆野町橋梁長寿命化修繕計画（個別施設計画）  
（令和4年度改訂）

巻末資料 対象橋梁の一覧表（1/4）

「令和5年1月31日現在」

対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期を示す

対策橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

凡例： ← → 対策を実施すべき時期を示す。（1/4）

橋梁名	路線名	橋長 (m)	架設 年度	最新 点検 年次	健全 性	対策の内容・時期														主な 措置 内容
						R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14					
下田野橋（車道）	町道下田野1号線	27.96	2015	R3	I				点検							点検		修繕		
下田野橋（側歩道橋）	町道下田野1号線	20.95	1966	R3	II				点検							点検		修繕		
万年橋	町道下田野13号線	31.75	1998	R3	I				点検							点検		修繕		
龍ヶ谷橋	町道下田野13号線	14.54	1998	R3	I				点検							点検		修繕		
新能林橋	町道下田野13号線	21.7	1998	R3	I				点検							点検		修繕		
身馴川橋	町道金沢1号線	27	1989	R3	I				点検							点検		修繕		
金沢川橋	町道金沢33号線	15.6	1983	R3	I				点検							点検		修繕		
加増橋	町道金沢54号線	15.2	1971	R3	I				点検							点検		修繕		
神平橋	町道日野沢13号線	30.11	1976	R3	I				点検							点検		修繕		
日野橋	町道日野沢34号線	23	1972	R3	I				点検							点検		修繕		
希望橋	町道日野沢67号線	21.66	1988	R3	I				点検							点検		修繕		
新井橋	町道皆野1号線	8	1997	R1	I		点検					点検						修繕		
下富沢橋	町道皆野4号線	4	2010	R1	I		点検					点検						修繕		
上小坂橋	町道皆野4号線	2	2010	R1	I		点検					点検						修繕		
富沢橋	町道皆野11号線	4	1966	R1	I		点検					点検						修繕		
上中橋	町道皆野12号線	4	1966	R1	II		点検		設計		← →	点検						修繕		
皆野12-1号橋	町道皆野12号線	4	2000	R1	I		点検					点検						修繕		
中滝の入沢橋	町道皆野13号線	4	1982	R1	I		点検					点検						修繕		
下中之芝橋	町道皆野17号線	4	1995	R1	I		点検					点検						修繕		
石神井橋	町道皆野59号線	4	1966	R1	I		点検					点検						修繕		
塩貝戸橋	町道皆野61号線	4	1966	R1	I		点検					点検						修繕		
上親鼻橋	町道皆野62号線	7	1965	R1	I		点検					点検						修繕		
駒形橋	町道皆野70号線	7	1994	R1	I		点検					点検						修繕		
77-1号橋	町道皆野77号線	3	1965	R1	I		点検					点検						修繕		
上富沢橋	町道皆野85号線	3	1965	R1	I		点検					点検						修繕		
夏内橋	町道皆野100号線	7	1965	R1	II		点検・設計		← →			点検						修繕		
外久保沢橋	町道皆野111号線	2	1965	R1	II		点検		設計		← →	点検						修繕		
水押橋	町道皆野128号線	6	1985	R1	I		点検					点検						修繕		
上外久保沢橋	町道皆野130号線	2	1965	R1	I		点検					点検						修繕		
上根岸沢橋	町道皆野132号線	4	2016	R1	I		点検					点検						修繕		
下水押橋	町道皆野133号線	3	1986	R1	I		点検					点検						修繕		
柳畑橋	町道皆野139号線	5	2013	R1	I		点検					点検						修繕		
147-1号橋	町道皆野147号線	4	1965	R1	I		点検					点検						修繕		
下中橋	町道皆野150号線	5	1965	R1	II		点検		設計		← →	点検						修繕		
中橋	町道皆野153号線	4	1965	R1	I		点検					点検						修繕		
中之芝橋	町道皆野189号線	4	1965	R1	I		点検					点検						修繕		
下柏木沢橋	町道皆野194号線	8	2006	R1	I		点検					点検						修繕		
田野沢橋	町道下田野1号線	14	1964	R1	I		点検					点検						修繕		
岩戸橋	町道下田野31号線	14	1999	R1	II	設計	点検	← →				点検						修繕		
51-1号橋	町道下田野51号線	4	1983	R1	I		点検					点検						修繕		

皆野町橋梁長寿命化修繕計画（個別施設計画）  
（令和4年度改訂）

巻末資料 対象橋梁の一覧表（2/4）

「令和5年1月31日現在」

対策橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

凡例： ← → 対策を実施すべき時期を示す。（2/4）

橋梁名	路線名	橋長 (m)	架設 年度	最新 点検 年次	健全 性	対策の内容・時期										主な 措置 内容	
						R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14		
松畝橋	町道下田野60号線	3	1964	R1	Ⅱ		点検	設計		← →		点検					修繕
能林橋	町道下田野62号線	5	1964	R1	I		点検					点検					修繕
狸穴沢橋	町道下田野63号線	4	1998	R1	I		点検					点検					修繕
谷草沢橋	町道下田野63号線	19	1998	R1	Ⅱ		点検					点検					修繕
国神橋	町道国神1号線	13.08	1962	R2	I	設計	← →	点検					点検				修繕
54-2号橋	町道国神54号線	2.9	1962	R2	I			点検					点検				修繕
蟹沢口橋	町道国神67号線	4.3	1962	R2	I			点検					点検				修繕
北沢橋	町道国神75号線	4.9	1962	R2	I			点検					点検				修繕
100-1号橋	町道国神100号線	3.6	1962	R2	I			点検					点検				修繕
丸山橋	町道国神106号線	2.26	1962	R2	Ⅱ			点検	設計		← →		点検				修繕
滝ノ沢橋	町道国神110号線	4	1962	R2	I			点検					点検				修繕
関沢橋	町道国神115号線	2.4	1977	R2	I			点検					点検				修繕
上関沢橋	町道国神119号線	5.2	2015	R2	I			点検					点検				修繕
138-1号橋	町道国神138号線	2.27	1962	R2	I			点検					点検				修繕
梨木沢橋	町道金沢1号線	4.85	1979	R3	I				点検						点検		修繕
1-1号橋	町道金沢1号線	2.36	1989	R3	I				点検						点検		修繕
1-2号橋	町道金沢1号線	2.36	1989	R3	I				点検						点検		修繕
細見橋	町道金沢11号線	5.15	1989	R3	I				点検						点検		修繕
諏訪平橋	町道金沢12号線	13.36	1989	R3	Ⅱ				点検		設計		← →	点検			修繕
西諏訪平橋	町道金沢12号線	12.54	1996	R3	I				点検						点検		修繕
金山橋	町道金沢12号線	9.1	2004	R3	Ⅱ					点検・設計	← →				点検		修繕
西金山橋	町道金沢12号線	8.3	2001	R3	I				点検						点検		修繕
妙部沢橋	町道金沢34号線	3.06	1971	R3	I				点検						点検		修繕
青柳沢橋	町道金沢34号線	3.65	1971	R3	I				点検						点検		修繕
下大平橋	町道金沢34号線	4.14	1971	R3	Ⅱ				点検						点検		修繕
上田中入橋	町道金沢35号線	2.42	1971	R3	Ⅱ			設計		点検	← →				点検		修繕
田中入橋	町道金沢35号線	7.24	1971	R3	I				点検						点検		修繕
西光橋	町道金沢37号線	8.34	1987	R3	I				点検						点検		修繕
山形橋	町道金沢38号線	10.06	1987	R3	I				点検						点検		修繕
出牛橋	町道金沢47号線	3.25	1971	R3	Ⅱ				設計	点検	← →				点検		修繕
昭和橋	町道金沢52号線	14.64	1982	R3	I				点検						点検		修繕
萩宮橋	町道金沢53号線	12.69	1966	R3	I				点検						点検		修繕
55-1号橋	町道金沢55号線	3.08	1971	R3	I				点検						点検		修繕
平橋	町道日野沢13号線	3.65	1976	R4	I					点検						点検	修繕
院内沢橋	町道日野沢13号線	3.95	1977	R4	I					点検						点検	修繕
竹ノ下橋	町道日野沢34号線	5.1	1969	R4	I					点検						点検	修繕
山神橋	町道日野沢34号線	7.5	1982	R4	I					点検						点検	修繕
前畑橋	町道日野沢34号線	17.34	2019	R4	I					点検						点検	修繕
藤原橋	町道日野沢39号線	8.95	1969	R4	I					点検						点検	修繕
森尾沢橋	町道日野沢60号線	2.8	1971	R4	Ⅱ					点検						点検	修繕
小前沢橋	町道日野沢60号線	2.32	1970	R4	I					点検						点検	修繕

皆野町橋梁長寿命化修繕計画（個別施設計画）  
（令和4年度改訂）

巻末資料 対象橋梁の一覧表（3/4）

「令和5年1月31日現在」

対策橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

凡例： ← → 対策を実施すべき時期を示す。（3/4）

橋梁名	路線名	橋長 (m)	架設 年度	最新 点検 年次	健全 性	対策の内容・時期										主な 措置 内容
						R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
安産橋	町道日野沢40号線	4.55	2002	R4	I					点検					点検	修繕
下沢辺橋	町道日野沢44号線	9	1969	R4	II	設計		← →		点検					点検	修繕
水賛寺橋	町道日野沢45号線	3	1970	R4	I					点検					点検	修繕
東向橋	町道日野沢45号線	3	1970	R4	I					点検					点検	修繕
下平橋	町道日野沢46号線	3.05	1970	R4	I					点検					点検	修繕
46-1号橋	町道日野沢46号線	3.42	1970	R4	I					点検					点検	修繕
重木橋	町道日野沢46号線	11	1969	R4	I					点検					点検	修繕
小松沢入橋	町道日野沢49号線	4.5	1970	R4	I					点検					点検	修繕
風戸沢橋	町道日野沢68号線	4.5	1982	R4	I					点検					点検	修繕
72-1号橋	町道日野沢72号線	5.9	1970	R4	I					点検					点検	修繕
五十新田橋	町道三沢1号線	5.95	1969	H30	II	点検					点検					修繕
二夜橋	町道三沢1号線	5.05	1968	H30	II	点検					点検					修繕
大日橋	町道三沢1号線	3.65	1968	H30	II	点検		設計		点検						修繕
鈴の橋	町道三沢3号線	7.72	2012	H30	II	点検				点検						修繕
淵乃尾橋	町道三沢11号線	13.45	2010	H30	II	点検					点検		設計		← →	修繕
12-1号橋	町道三沢12号線	2.3	1968	H30	I	点検					点検					修繕
五反田橋	町道三沢34号線	13	1983	H30	II	点検					点検					修繕
八幡橋	町道三沢34号線	6	1985	H30	II	点検					点検					修繕
坊谷戸橋	町道三沢36号線	2.9	1968	H30	I	点検					点検					修繕
曾根坂橋	町道三沢37号線	3.3	1968	H30	III 対策済	点検					点検					修繕
38-1号橋	町道三沢38号線	3.65	1968	H30	I	点検					点検					修繕
大洞沢橋	町道三沢39号線	5.4	1968	H30	II	点検					点検					修繕
46-1号橋	町道三沢46号線	2.3	1968	H30	III 対策済	点検					点検					修繕
46-2号橋	町道三沢46号線	2.32	1972	H30	I	点検					点検					修繕
50-1号橋	町道三沢50号線	4.6	1968	H30	III 対策済	点検					点検					修繕
丑沢橋	町道三沢54号線	6.85	1967	H30	II	点検					点検					修繕
常楽寺橋	町道三沢57号線	4.09	1998	H30	II	点検					点検					修繕
上藤ノ木橋	町道三沢59号線	3	1998	H30	II	点検					点検					修繕
奥中ノ沢橋	町道三沢59号線	6	1998	H30	II	点検					点検					修繕
藤ノ木橋	町道三沢61号線	4.5	1984	H30	I	点検					点検					修繕
中ノ沢橋	町道三沢63号線	4.4	1967	H30	I	点検					点検					修繕
田中橋	町道三沢76号線	10.9	1983	H30	II	点検					点検					修繕
中柿橋	町道三沢80号線	14.9	2011	H30	I	点検					点検					修繕
万年橋	町道三沢82号線	11.05	1967	H30	I	点検					点検					修繕
奥滝ノ沢橋	町道三沢86号線	3.51	1967	H30	I	点検					点検					修繕
下高府地橋	町道三沢88号線	9.75	1967	H30	III 対策済	点検					点検・設計		← →			修繕
立道橋	町道三沢91号線	7.5	1987	H30	II	点検					点検					修繕
平林橋	町道三沢91号線	6.64	2015	H30	I	点検					点検					修繕
鐘淵橋	町道三沢92号線	7.62	1985	H30	II	点検					点検					修繕
高淵寺橋	町道三沢94号線	6	1967	H30	II	点検					点検					修繕
南玉川橋	町道三沢95号線	6.58	1980	H30	II	点検					点検					修繕

皆野町橋梁長寿命化修繕計画（個別施設計画）  
（令和4年度改訂）

巻末資料 対象橋梁の一覧表（4/4）

「令和5年1月31日現在」

対策橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

凡例： ← → 対策を実施すべき時期を示す。（4/4）

橋梁名	路線名	橋長 (m)	架設 年度	最新 点検 年次	健全 性	対策の内容・時期										主な 措置 内容	
						R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14		
日向橋	町道三沢101号線	4.02	1998	H30	Ⅱ	点検					点検						修繕
102-1号橋	町道三沢102号線	6.65	1998	H30	Ⅰ	点検					点検						修繕
空堀橋	町道三沢102号線	8.05	2011	H30	Ⅱ	点検					点検						修繕
水神橋	町道三沢107号線	3.4	2014	H30	Ⅲ 対策済	点検					点検						修繕
109-1号橋	町道三沢109号線	2.38	1967	H30	Ⅱ	点検					点検						修繕
小平橋	町道三沢116号線	2.9	1967	H30	Ⅰ	点検					点検						修繕
芳ノ入橋	町道三沢116号線	9.04	1966	H30	Ⅱ	点検			設計		点検						修繕
133-1号橋	町道三沢133号線	4.92	1966	H30	Ⅱ	点検					点検						修繕
92-1号橋	町道皆野92号線	5.4	1964	R1	Ⅱ		点検					点検					修繕
滝根橋(落橋)	町道皆野93号線	5.4	1964	R1	Ⅱ		点検										
新作橋	町道下田野59号線	7.4	1964	R1	Ⅱ		点検					点検					修繕
64-1号橋	町道国神64号線	2	1964	R1	Ⅱ		点検					点検					修繕
91-1号橋	町道国神91号線	3.15	1964	R1	Ⅱ		点検					点検					修繕
下ノ沢橋	町道国神92号線	6.9	1964	R1	Ⅱ		点検					点検					修繕
94-1号橋	町道国神94号線	2.8	1964	R1	Ⅰ		点検					点検					修繕
橋場橋	町道国神113号線	4.68	1964	R1	Ⅰ		点検					点検					修繕
中東橋	町道金沢12号線	4.68	1963	R1	Ⅰ		点検					点検					修繕
日影沢橋	町道金沢31号線	4.68	1963	R1	Ⅰ		点検					点検					修繕
妙部谷戸橋	町道金沢43号線	5.4	2020	R1	Ⅰ		点検					点検					修繕
中細身橋	町道金沢57号線	4.55	1963	R1	Ⅰ		点検					点検					修繕
向山沢橋	町道金沢59号線	5.4	1963	R1	Ⅱ		点検					点検					修繕
45-1号橋	町道日野沢45号線	3.2	1963	R1	Ⅱ		点検					点検					修繕
45-2号橋	町道日野沢45号線	3.1	1963	R1	Ⅱ		点検		設計		← →	点検					修繕
小松橋	町道日野沢45号線	4.25	1963	R1	Ⅲ 対策済		点検					点検					修繕
46-2号橋	町道日野沢46号線	4.75	1963	R1	Ⅰ		点検					点検					修繕
森脇沢橋	町道日野沢47号線	12.1	1963	R1	Ⅰ		点検					点検					修繕
49-2号橋	町道日野沢49号線	3.3	1963	R1	Ⅱ		点検					点検					修繕
49-3号橋	町道日野沢49号線	3	1963	R1	Ⅱ		点検					点検					修繕
山ノ上橋	町道日野沢52号線	4.5	1963	R1	Ⅰ		点検					点検					修繕
56-1号橋	町道日野沢56号線	6.34	1963	R1	Ⅱ		点検					点検					修繕
66-1号橋	町道日野沢66号線	3.9	1963	R1	Ⅱ		点検					点検					修繕
35-1号橋	町道三沢35号線	5	1963	R1	Ⅱ		点検					点検					修繕
35-2号橋	町道三沢35号線	6.7	1963	R1	Ⅰ		点検					点検					修繕
84-1号橋	町道三沢84号線	2.4	1963	R1	Ⅱ		点検					点検					修繕
上高府地橋	町道三沢88号線	7	1962	R1	Ⅱ		点検					点検					修繕
103-1号橋	町道三沢103号線	4.8	1962	R1	Ⅱ		点検					点検					修繕
三沢橋(令和7年4月1日県より移譲)	町道三沢3号線	16	1970	R4	Ⅰ				点検						点検		修繕
合 計 (百万円)							15	21	18	15	10	20	15	17	8	12	



**皆野町橋梁長寿命化修繕計画**  
**(個別施設計画)**

(令和4年度改訂版)

皆野町 建設課

〒369-1492 埼玉県秩父郡皆野町大字皆野 1420-1

電話：0494-62-1463